

臨床研究「皮膚疾患画像ナショナルデータベースの構築 AI 活用診療支援システムの開発」について

当院皮膚科では、標題の臨床研究を実施しております。この研究では、患者さんの日常診療で得られたデータ(情報)を利用させていただきます。ご自身のデータがこの研究に利用されることについて、異議がある場合は、情報の利用や他の研究機関への提供をいつでも停止することができます。研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、ご自身のデータがこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

なお、結果を公表した後に協力取り消しを申し出られた場合は、本研究への協力を取り消すことができなくなりますので、予めご了承ください。また、本研究への協力を拒否されても、今後の治療を受ける上で不利益が生じることはありません。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究対象

2000年1月1日から2020年12月31日までに当院で皮膚疾患の診断や治療を受けた患者さんです。

② 研究の意義・目的・方法

レントゲン写真や CT 画像を人工知能(AI)により自動診断するシステムの開発が進んでおり、近い将来 AI による自動読影が可能となると考えられています。一方、皮膚科領域はテレダーマトロジーとも呼ばれる遠隔診断システムが民間業者によりすでに実用化していますが、これはAIではなく皮膚科医が写真や臨床情報を基に遠隔診断しているため、多くの症例を短時間に処理することはできません。

AI の開発には多量の皮膚病の写真が必要であることから、今回日本皮膚科学会が主導し、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)による研究費を財源とした皮膚病を集めた国家的なデータベースを作成する研究を開始しました。当院はこの研究の参加施設として参加し、筑波大学附属病院がその中核施設となり研究をおこないます。

データベースは臨床写真、ターモスコープ写真、病理組織写真、そしてそれらの症例に紐付けされた臨床情報が集積されます。

研究の中核となるナショナルデータベース構築のため、筑波大学附属病院皮膚科は当科で保管している皮膚疾患の写真をそのデータベースに提供することにしました。データベースには写真とその診断名、年齢、性別、診断根拠となった臨床情報、治療内容、そして転帰などの情報が紐付けされたデジタルデータとして保管されます。なお、提供前に個人を判別できる可能性のある写真(個人が特定可能な顔面全体の写真や特徴的な刺青や詳細な指紋など)を除外しますので、個人が特定できるような写真及び臨床情報は一切提供しません。

データベースが完成したらその次の段階として、そのデータベースを使用して皮膚病の写真を使った診断補助システムの開発を行います。なお、データベースとして蓄積されている情報は既に個人情報削除された状態となっておりますので、利用に際してあなたの個人情報が流出する恐れはありません。

③ 研究機関名・研究者名

研究組織は以下の様になっております。

研究代表施設: 筑波大学皮膚科・藤津 康弘

研究参加施設一覧:

大阪大学 皮膚科 教授 藤本学

浜松医科大学細胞分子解剖学講座 特任教授 戸倉新樹

東北大学 皮膚科 准教授 山崎研志

東京大学 皮膚科 教授 佐藤伸一

慶応義塾大学 皮膚科 教授 天谷雅行

東京女子医科大学 東医療センター 教授 田中勝

日本医科大学武蔵小杉病院 教授 安齋眞一

新潟大学 皮膚科 教授 阿部理一郎

山梨大学 皮膚科 教授 川村龍吉

信州大学 皮膚科 教授 奥山隆平

京都大学 皮膚科 教授 椛島健治

高知大学 皮膚科 教授 佐野栄紀

九州大学 皮膚科 講師 伊藤孝通

熊本大学 皮膚科 准教 福島聡

琉球大学 皮膚科 教授 高橋健造

慶応義塾大学 医療政策・管理学 宮田裕章

東北大学 東北メディカルメガバンク機構 教授 長崎正朗

理化学研究所 革新知能統合研究センター病理情報学ユニット リーダー

理化学研究所 革新知能統合研究センター遺伝統計学チーム リーダー

国立情報学研究所アーキテクチャ科学研究系 教授 合田憲人

国立情報学研究所コンテンツ科学研究系 教授 佐藤眞一

東京大学附属病院 教授 大江和彦

東京農工大学 工学研究院 教授 清水昭伸

産業医科大学 皮膚科 教授 中村元信

大阪市立大学 皮膚科 教授 鶴田大輔

鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科 部長 松下茂人

大阪みなと中央病院 皮膚科 部長 三浦宏之

三重大学 皮膚科 助教 後藤啓元

静岡済生会総合病院 皮膚科 部長 松本賢太郎

金沢大学 皮膚科 教授 松下貴史

沼津市立病院 皮膚科 部長 秦まき

平塚市民病院 皮膚科 科長 栗原佑一

藤田医科大学 皮膚科 准教授 有馬豪

横浜市立みなと赤十字病院 皮膚科 部長 渡邊慶

奈良県立医科大学 皮膚科 准教授 新熊悟

島根大学 皮膚科 助教 越智康之

日本医科大学多摩永山病院 皮膚科 准教授 長田眞一

近畿大学奈良病院 皮膚科 教授 山田秀和
名古屋市立大学 皮膚科 医員 鳥居寛
国立病院機構仙台医療センター 皮膚科 部長 飯澤理
県立広島病院 皮膚科 部長 田中麻衣子
慎天堂大学医学部附属練馬病院 皮膚科 准教授 深井達夫
JCHO 金沢病院 皮膚科 医長 小村 一浩
岡山市立市民病院 皮膚科 部長 岡崎布佐子
群馬大学 皮膚科 助教 渋沢弥生
虎の門病院 皮膚科 部長 林 伸和
福井大学 皮膚科 医員 笠松宏至
大阪病院 皮膚科 部長 竹原友貴
滋賀医科大学 皮膚科 講師 加藤威
国際医療研究センター病院 皮膚科 科長 玉木毅
南和歌山医療センター 皮膚科 医長 南宏典
宝塚市立病院 皮膚科 部長 山本哲久
東京女子医科大学病院 皮膚科 助教 宮田龍臣
広島大学 皮膚科 助教 松尾佐美
京都府公立大学法人京都府立医科大皮 学膚科 助教 小森敏史
東邦大学大森病院 皮膚科 准教授 石井健

④ 保有する個人情報に関する利用目的

上記②で説明したとおり、皮膚病の写真データベースを構築することが第一の目的で、その次にAI 診断システムの開発を行います。個人が特定できるような写真及び臨床情報は一切使用しません。AI 診断システムの開発は③の研究施設の一部で行われ、その際に集積した情報の一部が研究施設に提供されます。

⑤ 保有する個人情報の開示手続

ご本人の写真が使用されているかどうかについてお知りになりたい場合は下記の連絡先にご連絡ください。なお、既に写真が加工されて機械学習に使用されるなどした後は特定の写真を削除することが出来なくなりますのでご注意ください。

⑥ 本研究に関する問い合わせ・保有する個人情報の問い合わせ・苦情等の連絡先

●研究統括者

筑波大学附属病院 皮膚科 准教授 藤澤 康弘
〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1
電話番号：029-853-3128(平日 10:00～17:00)

●当院の研究責任者

宝塚市立病院 皮膚科 部長 山本 哲久
〒665-0827 兵庫県宝塚市小浜 4-5-1
電話番号：0797-87-1161(平日 9:00～17:00)